

2. 事業の概要と成果

(1) 上位目標の達成度

本事業の上位目標は「ネパール中西部における妊産婦・新生児の健康改善」であり、医療サービスを提供する環境の向上、住民の健康に対する意識の改善、妊産婦・新生児の健康状態の改善を目指している。この上位目標の達成のため、本事業では以下の3つの分野で包括的に活動を行なった。

(1) お産センターの建設と医療備品の支援

(2) 医療従事者へのキャパシティ向上研修・資機材提供

(3) 青少年に対する健康教育と啓発

(1) お産センターの建設と医療備品の支援

本事業でお産センターを建設したVDC（村落開発区域）では、事業前は出産に対応できる施設がない、あるいは基本的な医療サービスを提供するSHP（簡易保健所）に最小限の医療器具を置いてあるだけの状態であり、日常診療の必要にも応えられないような環境であったため、これらのVDCにおいては、事業開始前は出産助産師の管理の元での施設出産がまったく行われていなかった。

本事業により分娩室と診察室を備えたお産センターが建設され、政府が定める医療機器も設置された。また各お産センターにソーラーパネルを設置することで、ネパール政府が定める「24時間出産に対応できる施設」という基準を満たし、夜間の出産に対応できる体制を整えることができた。

(2) 医療従事者へのキャパシティ向上研修・資機材提供

お産センターを建設した5つのVDCに所属する5名の医療従事者にインプラント（避妊具）研修を行ない、インプラントの着脱処理ができるようになった。

また、お産センターを建設した5つのVDCと、その近隣の6つのVDCで働く11名の医療従事者（准看護師）に出産助産研修を行なうとともに、近隣の6つのVDCには出産助産研修で身につけた技術を活かせるよう、出産助産に必要とされる基本的な医療資機材の提供も行なった。この結果、彼らの所属する11のVDCでは、研修後の2013年8月から2014年3月にかけて、283名の妊婦が医療施設で出産した。事業実施前、近隣の6つのVDCには医療施設があったものの満足な設備がなかったために施設出産は行われていなかった。この事業により、事業実施前に比べ各段に出産環境が改善した。

(3) 青少年に対する健康教育と啓発

カリコット郡の15VDCの青少年を対象に啓発活動を行なった。電気がなく、情報伝達手段が限られるため、各SHPにリプロダクティブヘルスコーナーを設置、若年結婚・出産、避妊方法、HIV/AIDSなどについての情報を自由に閲覧できるようにした。

(2) 事業内容	<u>1.1 お産センターの建設 (5 棟)</u> カリコット郡の Phaka、Odhanaku、Malkot、Bharta、Nanikot の 5VDC にお産センターを建設した。 <u>1.2 お産センターに必要な機材・設備の提供</u> 新しく建設したお産センターに、ネパール保健省が指定する備品のうちベビーウォーマー（カリコット郡は降雪があり年間を通じて気温が低いいため特に有用）、分娩ベッド、滅菌器、ストレッチャーなどを提供した。また、出産に 24 時間対応するため、950 ワットのソーラーパネルとバッテリーを提供した。 この 5 棟のお産センター以外に、近隣の 6VDC (Badalkot、Kalika、Mumra、Seuna、Khina、Lalu) の SHP に対し出産介助に必要な最低限の備品を提供した。これらの SHP には本事業の出産介助研修を受講した医療従事者がおり、彼らの出産介助技術が向上した一方でその技術を生かすための備品が不足していたため、技能に見合った備品が必要と判断し、この支援を行なった。 <u>1.3 郡病院へのソーラーパネル及びワクチン保存冷蔵庫の提供</u> カリコット郡は 2013 年 5 月の大雨により水力発電所が流されて以来、現在に至るまで発電施設の復旧の目途は立っておらず、電気のない生活を強いられている。カリコット郡の医療サービスの中心的役割を果たす郡病院も同じ状況であるため、郡病院に 2,100 ワットと 1,680 ワットのソーラーシステムを導入した。これにより、病院に電気を供給し、冷蔵保存が求められる薬やワクチンを安定した状態で保存することができるようになった。 <u>2.1 郡リプロダクティブヘルスケア委員会への機能強化研修</u> 2013 年 7 月 10 日から 13 日にかけて、郡リプロダクティブヘルスケア委員会のメンバー 25 名を対象に機能強化研修を行なった。研修では、医療施設の自主的な維持管理に関する意識づけ、その手法の習得、それらの活動において受講者がリーダーシップを発揮できるようにするトレーニングなどをおこなった。 研修後、郡保健事務所は出産件数の多い Bharta、Malkot、Nanikot VDC に出産介助ができる人材を増員することを決定し、2014 年 4 月までにこの 3VDC に出産助産師を 2 名置く態勢を整えることができた。 <u>2.2 VDC レベル保健医療施設マネジメント委員会の機能強化研修</u> お産センターを建設した VDC の保健医療施設マネジメント委員会のメンバーや VDC 職員など 106 名に対し、上記 2.1 と同様の機能強化研修を行なった。 <u>3.1 医療従事者へのインプラント研修</u> ネパールガンジの国立トレーニングセンターにて 2013 年 8 月 19 日から 27 日までの 8 日間、インプラント（避妊具）研修を行なった。5 名の受講者がインプラントの装・脱着ができるようになった。 <u>3.2 出産助産者（SBA）への出産助産研修</u> カイラリ郡ダンガリ市国立病院で 2013 年 6 月 10 日から 8 月 8 日までの 60 日間、出産助産研修を行なった。お産センターを建設した VDC で働く医療従事者（准看護師）を含む 11 名が受講し、全員が研
----------	---

	修の全課程を修了した。 <u>4. 青少年に対する健康教育・啓発</u> 郡のリプロダクティブヘルスケア委員会のメンバーに対し、青少年対象の健康教育に関するトレーナー養成研修を行なった。養成研修後、受講生がトレーナーとなって各ヘルスポストの責任者、医療従事者、女性コミュニティボランティアに対して同様の研修を行なった。また事業スタッフがカリコット郡内 13 校の計 359 名の青少年に対し、若年結婚・出産による弊害、薬物の影響、リプロダクティブヘルスコーナーで受けられるサービス内容や自由閲覧できる書物に関する情報の周知などを含む健康教育授業を行なった。 <u>5. マスキャンペン</u> 本事業期間中、5 つのテーマ（施設出産の重要性、母子・新生児の健康、産前健診の重要性、産後健診の重要性、家族計画）に関するラジオ放送を、計 990 回放送した。放送内容はカリコット郡の方言で作成し、郡内の多くの人々が聴取できるように配慮した。 また、15 の VDC の SHP にリプロダクティブヘルスコーナーを設置した。このコーナーでは性教育に関するパンフレットの入手や書籍の閲覧ができ、青少年が自身の年代の性に関する情報について自由に情報を得られるようになった。
(3) 達成された成果	成果 1 : ・事業で建設したお産センター5 棟はすべて運用されている。 ・出産介助研修後 2013 年 8 月から 2014 年 3 月までの間に、出産介助研修を受けた医療従事者の介助のもと、283 件の施設出産が行われた。 成果 2 : ・インプラント研修により、カリコット郡内でインプラントの装着・脱着を行なえる医療従事者のいる医療施設が 4 ヶ所から 9 か所に増えた。 ・インプラント研修を修了した医療従事者は、2014 年 3 月時点で計 45 名の女性にインプラントの装着処置を行なっている。 成果 3 : ・建設したお産センターに所属している 5 名の医療従事者に出産介助研修を行なった。また、近隣の 6VDC に所属する 6 名の医療従事者にも同様の研修を行なった。これにより、お産センターを建設した VDC だけでなく、その周辺に住む妊婦も健診及び出産処置を受けられるようになった。 ・郡リプロダクティブヘルスケア委員会の機能強化研修の結果、出産件数の多い 3 つの VDC に准看護師が 1 名ずつ追加された。 ・お産センターが建設された各 VDC では、事業実施前はほとんど予算が割り当てられなかった保健医療施設に 120,000 ルピーから 237,000 ルピーの予算が割かれるようになった。

(4) 持続発展性	本事業では、お産センターの建設とコミュニティレベルでの母子保健に関わる人材育成、さらに医療施設の管理運営に関わる人材の育成を行ない、ハード面とソフト面の充実に加え、両者を活用する管理運営者への育成にも着目した支援を行なった。これにより、事業成果を長期にわたって持続させることができる。 お産センターはネパール政府が定める設計を元に建設しており、各お産センターに提供した備品も保健省のガイドラインに沿って決定した。提供した備品はすべて郡保健事務所の備品目録に登録しており、今後は郡保健事務所が管理・使用する。 出産介助研修を受けた全ての准看護師は約束書（commitment letter）を各 VDC に提出している。この書面において、准看護師は VDC の管理・評価の元、今後も継続してお産センターで出産介助を行なう旨を約束している。 保健医療施設マネジメント委員会はお産センターや設置された備品のみならず、そこで働く医療従事者も含めて管理する責任があり、VDC の住民及び有識者で構成されている。研修を通じてこの委員会の意識変革を行ない、会がより有効に機能するよう促した。研修を通じて、自分たちの VDC の問題を自分たちで解決しなければならないという意識を醸成することができ、その成果の一端として、建設が完了しないまま放置されていた簡易保健所の建設を再開した VDC もあった。この簡易保健所は 2013 年 11 月に完成し、現在はお産センターと簡易保健所のそれぞれで医療サービスを提供する環境が整っている。他のお産センターでも、機能強化研修を受けた医療施設管理委員会のメンバーが活発に活動するようになっており、長年にわたって放置されていた医療廃棄物の廃棄を始めたり、委員会の構成メンバーを刷新してより積極的な活動ができる体制を整えたりしており、今後の運営管理体制の向上が期待される。
-----------	--